

## 一般国道399号「伊達橋」の早期改修に関する緊急要望

令和4年3月16日に発生した福島県沖地震により、伊達市においては、住宅や道路・橋梁・河川等の土木施設に甚大な被害が生じております。特に一般国道399号の一級河川阿武隈川に架橋されている「伊達橋」の被害は非常に深刻であり、現在通行止めを余儀なくされております。

この一般国道399号は市の中心部を通り、大動脈である国道4号やJR伊達駅、各種公共施設や医療機関など、地域生活には欠かせない拠点を結ぶ伊達市にとって最も重要な路線であります。

「伊達橋」の通行止めにより、一刻を争う緊急・救急車両や、1日に約1万4千台にも及ぶ一般交通が他の橋へ迂回せざるを得ない状況となっており、市民生活の安全安心や通勤・通学、買い物、物流などの社会経済活動に深刻な影響が出ています。

伊達市においても、災害対策本部を設置し総力を挙げて、被災した道路施設の応急復旧や、市民生活の安定化に向け全力で取り組んでいるところですが、今回の深刻な事態に対処するためには、緊急かつ重点的な復旧に向けた対応をお願いするところであります。

つきましては、地域生活拠点を結ぶ「伊達橋」の重要性を踏まえ、市民の命と生活を守る道路ネットワークを確保するため、早急に対策を講じられるよう、下記の内容についての支援を強く要望します。

### 記

1. 被災した「伊達橋」の通行が早期に可能になるよう応急措置を講ずること。
2. 「伊達橋」の架け替えなど恒久対策により再度被災しないための改修を講ずること。